



余暇の達人



木村 明 先生
木村泌尿器皮膚科 院長

家庭菜園から学ぶ野菜への愛

念願の庭付き二戸建てに引っ越したとき、私は庭の一角で野菜を育てたい、と主張しましたが、ガーデンングを優先する妻に却下されました。しかし同情した妻は、近くの市民菜園を申し込んでくれ、当選したので、某年3月1日、家庭菜園を始めることになりました。

いろいろな野菜を作りましたが、ナスやトマトやネギは苗を買ってきて、それを育てただけ。やはりできて1番嬉しかったのは種から作った小松菜を収穫したとき。そして一番おいしかったのはジャガイモです。

ジャガイモ

まずは、スコップで掘り返すのに1週間。3月7日、区画AとBにジャガイモの種芋を植えました。4月3日、B区画のジャガイモが発芽し、4月15日には、A、B区画のジャガイモのほとんどが発芽しました。5月5日、ジャガイモの芽が出ていたので、H区画もジャガイモとすることとし、密集しすぎているジャガイモを間

引きし、移植。それを見ていた隣の区画のおばさん(ドラゴンボールの占い婆に似ている)がびっくり。種芋の付いていない葉っぱを植えてどうなるのかと。これは、看護師に聞いた方法なのですが、あまりにあきれた顔なので反論できませんでした。種芋の栄養で成長しているのに、種芋

がなければ育つはずがないと。私は、看護師さんに聞いたとき、なるほど、葉っぱが立派になった後は、光合成で芋ができるのかと思っただけです。

5月22日、花が咲きました。6月27日、茎が枯れた馬鈴薯^{ばいしんじょ}3本を掘り返し、まともな大きさの馬鈴薯5個を収穫。取れたてのジャガイモを焼いて、バターをつけて食べました。今まで食べた中で一番おいしいじゃがバターでした。新鮮なうえに自分で作ったという感慨もありますから。

7月10日、間引きしたジャガイモを植えたH区画を収穫しました。古い婆に、種芋の付いていない葉っぱを植えてどうなるのかと、あきられた代物。できたこと

は、できましたが、手間と1区画を2カ月占領していたことを考慮すれば、不作でした。

小松菜

3月13日、区画Cに小松菜の種を撒きました。3月21日、発芽しました。でも、4月3日には虫に食われ、4月25日には枯れてしまいました。

3月20日、H区画にも小松菜の種を撒きました。4月3日に発芽。

4月25日、防虫ネットを買って、小松菜を保護しました。おかげで、虫に食われることなく順調に育ち、5月5日、小松菜を収穫しました。小松菜ベーコン炒めにして食べました。

家庭菜園をやって良かったと思うのは、立食パーティーで、今まで、全然目がいかなくなった、サラダに目がいくようになったこと。肉の横についているだけだと思っていた野菜をじっと見つめてから、口に運ぶようになったことでした。